

(仮称)北烏山七丁目緑地開放〈夏の会〉を開催しました！



現地見学ツアーの様子



パネル展示とアンケートの実施



ネイチャーゲームの様子

夏の緑地のようすを味わっていただく機会として、平日と日曜日の2日間、緑地開放を行いました。

今回はより緑地を知っていただくため、現地見学ツアーを行いました。これまで立ち入ることができなかった緑地南側では、参加者からは「こんな場所があったなんて知らなかった！」という声も聞かれました。

子ども向けのネイチャーゲームでは、お子様や保護者の皆様に、生きものやみどりに親しんでいただきました。

緑地開放〈夏の会〉実施概要

日にち 令和6年7月17日(水)・21日(日)

時 間 10:00～16:00

参加者 149名

主なプログラム

現地見学ツアー／東京農業大学コラボ樹木クイズ／ネイチャーゲーム／パネル展示とアンケート／緑地で遊んでみよう

次回予告 緑地開放〈秋の会〉

11月10日(日)・13日(水)10時～15時(予定) 雨天時は14日(木)・17日(日)に延期
詳しい情報は、区HP、SNS、現地掲示などでご案内します。皆様のお越しをお待ちしています。

(仮称)北烏山七丁目緑地の最新情報を発信中です！

SNSでは、緑地の最新情報のほか、現地の様子なども発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。



区HP



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram

お問い合わせ先

緑地の計画について 世田谷区みどり33推進担当部公園整備利活用推進課 公園整備利活用推進担当
電話03-6432-7903 FAX03-6432-7989

区道の計画について 世田谷区烏山総合支所街づくり課 街づくり担当
電話03-3326-9618 FAX03-3326-6159

皆様のご意見をWEBで引き続き募集しています。右記二次元コードからご協力をお願いいたします。
WEBアンケートに関してのお問い合わせは、上記公園整備利活用推進課までお願いします。



WEBアンケート

(仮称)北烏山七丁目緑地づくりニュース

第4号

令和6年9月発行

発行者

世田谷区みどり33
推進担当部
公園整備利活用推進課

(仮称)北烏山七丁目緑地づくりワークショップがスタートしました

第1回ワークショップでは、区からの緑地づくりの情報提供のほか、6つのグループに分かれて、緑地予定地の魅力、気になることなどについて、ディスカッションしました。詳細は、中面をご覧ください。



第1回ワークショップ実施概要

日にち 令和6年7月28日(日)

時 間 10:00～12:30

参加者 34名

会 場 日本女子体育大学

主なプログラム

- ・(仮称)北烏山七丁目緑地事業について
- ・緑地予定地の現在のようす
- ・グループディスカッションと発表

(仮称)北烏山七丁目緑地づくり 第2回ワークショップ参加者募集

第1回

緑地のことを知ろう 終了しました
令和6年7月28日(日) 10時～12時30分
ワークショップ当日の内容は中面をご覧ください

第2回

緑地の将来像を考えよう
令和6年10月6日(日)
10時～12時30分

第3回

緑地の基本的な方針を考えよう(予定)
令和7年1月19日(日) 10時～12時30分

会場

日本女子体育大学
本館1階 E101教室
世田谷区北烏山8-19-1
第1回と同じ会場です。
※徒歩またはバスでお越しください。

申込み

電話、FAX、電子申請にて

先着50名

電話:03-6432-7903

FAX:03-6432-7989

公園整備利活用推進課



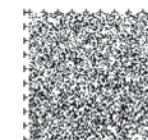
申込期間

9月11日(水)～10月2日(水)

参加にあたり配慮が必要な方は、お申込みの際にご相談ください。締切 9/20(金)

ひととき保育(託児)

事前のお申込みが必要です。
預けることが出来るお子さんは
生後5か月以上の未就学児で、
先着5名です。
9/20(金)までにお申し出ください。
(無料)



(仮称)北鳥山七丁目緑地づくり第1回ワークショップの報告

令和6年7月28日(日)に第1回ワークショップを開催しました。

▼ワークショップ当日の記録より 当日の情報提供やグループディスカッションの概要を下記写真のとおり、まとめました。区HPでもご覧いただけます。

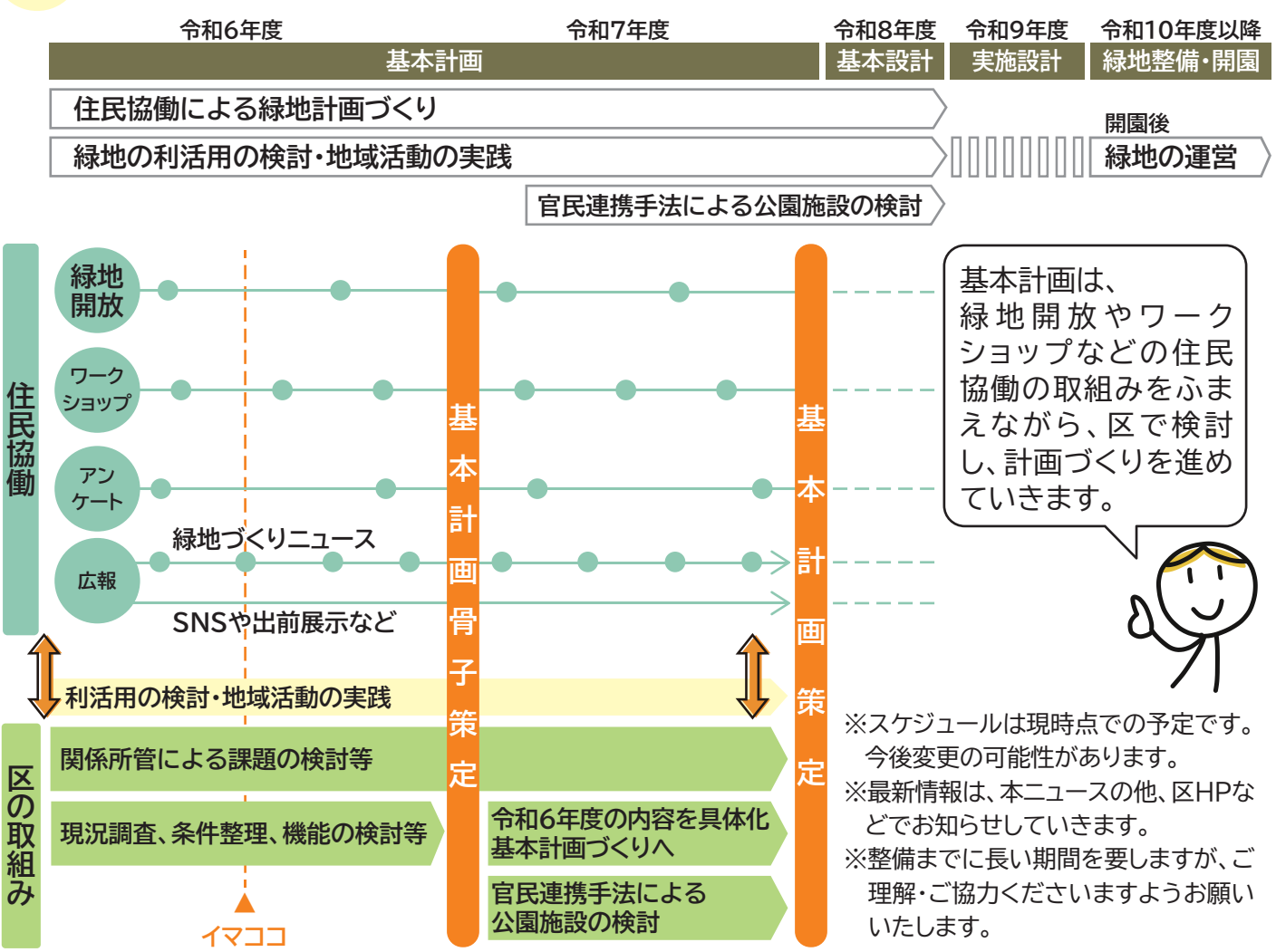


パート1 情報提供

(仮称)北鳥山七丁目緑地事業について

令和6～7年度に策定する **基本計画**とは 基本構想(緑地整備の基本的な考え方)をもとに、緑地整備の基本的な方針や、ゾーニング、導入する機能等をまとめたもの

緑地整備に向けたスケジュール 令和6年度より地域の皆様とともに緑地の計画づくりを進めます。



パート2 意見交換

グループディスカッション

緑地予定地の魅力や心配な点というテーマのほか、こんな緑地になってほしいといったアイデアを活発に話し合いました。主な意見を以下にご紹介します。

緑地づくり全般について

■ルールづくり

- ・イベントを繰り返しながら、植物などの採取のルールを検討できると良い。
- ・禁止事項やルールを作りすぎず、自分の責任で遊べる場所にしたい。

■地域の理解

- ・緑地ができてから苦情が出て、使えなくなってしまうようにしてほしい。
- ・ワークショップに来ている人は関心が高く協力的だが、来ていない人にどう対応する？

■今ある資源と整備のバランス

- ・地域と共存していくことも考えながらの自然保護が大切。
- ・野生味と安全性や施設整備など、相容れないことも、ゾーニングやバランスを工夫することで、実現可能なこともありそう。

■住民参加で緑地づくり

- ・ふるさと納税で緑地づくりをサポートする。

緑地予定地の魅力や守っていききたい点

■豊かな自然・生物多様性

- ・緑豊かで涼しいこと。
- ・うっそうとした木々とふわふわの足元が魅力。
- ・樹林、竹林、草地等、緑の変化に富んでいる。
- ・今の湿地帯的な感じも良い。
- ・自然に触れられる。
- ・豊かな緑と水と土が生物多様性を育んでいる。

緑地予定地の心配な点や気になること

■環境の変化

- ・緑地が整備されると人が増え、のんびり静かな環境でなくなるのが心配。

■だれもが使える

- ・子どもと高齢者が安心して集まれる場所に。
- ・赤ちゃんや車いすユーザーも使えるよう、ユニバーサルデザインでつくってほしい。

■防犯

- ・あまり木々でうっそうとしていると、人目につ

- ・緑地の保全、清掃も地域のイベントとしてできると良い。

■維持管理

- ・3ヘクタールもの広さがある緑地の維持管理は、民間の力も必要になりそう。

■防災拠点として

- ・災害時に緑地に集まり、地域の人が利用できるようにするため、日頃から防災につながるように使いたい。

■子どもの遊び場として

- ・地域に子どもの遊び場が少ないので、この緑地に期待したい。

■早期開園を

- ・今までも長い間放置されていたので、早く整備し、人が入ることで安全にしてほしい。

